



読書活動日本一の まちづくりニュース

編集：教育委員会読書推進課
発行：平成23年9月29日

出水市が、 第5回高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」の 受賞者に決定しました。

❖高橋松之助記念「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」とは？

文字・活字文化振興法の理念に則り、読書推進と文字・活字文化振興に貢献し、業績をあげた学校及び地方自治体・団体・個人を顕彰するもので、全国出版協会が主催しています。

この事業は、東京出版販売株式会社（現：株式会社トーハン）元社長・故高橋松之助氏の遺志を体して、同夫人リウ氏が社団法人全国出版協会および出版科学研究所に寄附されていた株式会社トーハンの株式を基金として、文字・活字文化の振興および啓発に資することを目的としたものです。

❖地方自治体としては3番目の受賞

今回は、「朝の読書大賞」として2小学校、1中学校、1高等学校が受賞、「文字活字文化推進大賞」は、出水市のみでの受賞となりました。

「文字・活字文化推進大賞」の地方自治体の受賞は、第1回（平成19年）茨城県大子町、第2回（平成20年）佐賀県伊万里市に続き、3番目の受賞になります。

❖全市を挙げた取り組みが評価

出水市は、市と市民が協働して子どもの読書環境の整備を進め、やがては「読書活動日本一のまちづくり」を築き上げられるようにと、「出水兵児（へこ）読書活動推進計画」を策定、平成19年から23年度までの5年間、全市を挙げた取り組みを行っていることが評価されました。

計画では、「子どもが読書に親しめる環境づくり」「社会全体での協働と連携の強化」「子ども読書活動への理解と関心の高揚」の3つの基本目標を策定。これに基づき70の実践項目を掲げ、さらに数値目標を設定しています。

全市民での取り組みとするため、「広報いずみ」に毎月読書に関する記事を掲載したり、組織的な取り組みとして、教育・行政関係職員が計画の実施状況の点検・分析を行う「読書活動日本一のまちづくり推進委員会」と市民との連携をすすめるための「読書活動日本一のまちづくり推進会議」の2つの会議を設置しています。

事業の成果は、毎年、報告書として作成している「読書活動日本一のまちづくり実践書」の中で、数値目標の検証、各種実践資料の紹介という形で公表しています。

また、平成23年度からは、教育委員会に読書活動推進に特化した「読書推進課」を設置し、「第2次読書活動推進計画」の策定に向けて、各種事業に取り組んでいます。

「文字・活字文化推進大賞」の授賞式は、平成23年10月28日（金）に東京で行われます。



- 第5回高橋松之助記念 朝の読書大賞
富田林市立寺池台小学校（大阪府富田林市）
平戸市平戸小学校（長崎県平戸市）
青森市立浪打中学校（青森県青森市）
徳島県立板野高等学校（徳島県板野郡板野町）
- 第5回高橋松之助記念 文字・活字文化推進大賞
鹿児島県出水市

